

	第1117回審査会合	今回
選定方法	<p>【断層モデルを用いた手法による基準地震動】 基準地震動Ss1を上回るケースから、検討用地震の地震動の諸特性を踏まえたうえで、検討用地震ごとに地震動レベルが大きいケースを代表ケースに選定し、基準地震動として設定</p> <p>①着目する周期帯(基準地震動Ss1に対して地震動レベルが大きい方向および周期帯)の地震動レベルが大きいケースを代表ケースとして選定 →基準地震動Ss1を上回る一部の周期で最大の応答スペクトルとなるケースであっても、ほかのケースで代表できると判断したものについては選定しない</p> <p>②着目する周期帯の地震動レベルが大きくなり、着目する周期帯以外の地震動レベルが大きいケースについて代表ケースとして選定</p> <p>③— →検討用地震ごとの代表ケース同士を比較しない</p>	<p>【断層モデルを用いた手法による基準地震動】 基準地震動Ss1を上回るケースから、検討用地震の地震動の諸特性を踏まえたうえで、検討用地震ごとに地震動レベルが大きいケースを代表ケースに選定し、基準地震動として設定</p> <p>①着目する周期帯の地震動レベルが大きいケースに加え、<b>基準地震動Ss1を上回る周期で最大の応答スペクトルとなるケースについては全て代表ケースとして選定</b></p> <p>②着目する周期帯の地震動レベルが大きくなり、着目する周期帯以外の地震動レベルが大きいケースについて、施設に与える影響が小さいと判断し、<b>代表ケースとして選定しない</b></p> <p>③<b>検討用地震ごとの代表ケース同士を比較</b>し、代表ケースが適切に選定されていることを確認</p>
基準地震動の策定結果	断層モデルを用いた手法による基準地震動 Ss2-1～Ss2-14	<p>断層モデルを用いた手法による基準地震動 <b>Ss2-1～Ss2-17</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回選定していなかったもののうち、検討用地震ごとの最大のケースを基準地震動として設定する。<b>(5ケース増加)</b>…選定方法① <ul style="list-style-type: none"> <li>・F<sub>5</sub>-10断層～岩内堆東撓曲～岩内堆南方背斜による地震 (不確かさ考慮モデル(破壊伝播速度), 破壊開始点6)</li> <li>・積丹半島北西沖の断層による地震 走向0° ケース (不確かさ考慮モデル(断層の傾斜角), 破壊開始点1)</li> <li>・積丹半島北西沖の断層による地震 走向0° ケース (不確かさ考慮モデル(断層の傾斜角), 破壊開始点4)</li> <li>・積丹半島北西沖の断層による地震 走向40° ケース (不確かさ考慮モデル(断層の傾斜角), 破壊開始点1)</li> <li>・積丹半島北西沖の断層による地震 走向40° ケース (不確かさ考慮モデル(応力降下量), 破壊開始点2)</li> </ul> </li> <li>・着目する周期帯の3方向の地震動レベルを確認した結果、施設に与える影響が小さいと判断し、<b>基準地震動として設定しない。(2ケース減少)</b>…選定方法②, ③ <ul style="list-style-type: none"> <li>・尻別川断層による地震(不確かさ考慮モデル(応力降下量), 破壊開始点4)</li> <li>・F<sub>5</sub>-10断層～岩内堆東撓曲～岩内堆南方背斜による地震 (不確かさ考慮モデル(応力降下量), 破壊開始点1)</li> </ul> </li> </ul>

# 第1117回審査会合からの変更概要

## 断層モデルを用いた手法による基準地震動の設定結果

### 【尻別川断層による地震】 (2ケース⇒1ケース)

基準地震動Ss1を 超過するケース	第1117回 審査会合	今回	備考	最大 ケース
基本震源モデル	破壊開始点2			
	破壊開始点4			
断層の傾斜角	破壊開始点1			
	破壊開始点2			
	破壊開始点3			
	破壊開始点4	基準地震動	基準地震動	◎
応力降下量	破壊開始点2			
	破壊開始点3			
	破壊開始点4	基準地震動	分類したケースの中で基準地震動Ss1を上回る周期で最大の応答スペクトルとなり、代表ケースに選定 ただし、異なる分類との着目する周期帯の3方向の確認により基準地震動として設定しない…選定方法③	

### 【F<sub>S</sub>-10断層～岩内堆東撓曲～岩内堆南方背斜による地震】 (5ケース⇒5ケース)

基準地震動Ss1を 超過するケース	第1117回 審査会合	今回	備考	最大 ケース
基本震源モデル	破壊開始点1			
断層の傾斜角	破壊開始点1	基準地震動	基準地震動	◎
	破壊開始点2			
	破壊開始点3			
	破壊開始点4	基準地震動	基準地震動	◎
	破壊開始点5			
	破壊開始点6			
応力降下量	破壊開始点1	基準地震動	基準地震動Ss1を上回る周期で最大の応答スペクトルとならず、また、着目する周期帯の3方向の確認により施設に与える影響が小さいと判断し代表ケースに選定しない…選定方法②	
	破壊開始点3			
	破壊開始点5			
破壊伝播速度	破壊開始点1	基準地震動	基準地震動	◎
	破壊開始点3			
	破壊開始点4			
	破壊開始点5	基準地震動	基準地震動	◎
	破壊開始点6	基準地震動	【追加】基準地震動Ss1を上回る周期で最大の応答スペクトルとなり、代表ケースに選定…選定方法①	◎

### 【積丹半島北西沖の断層による地震】 (7ケース⇒11ケース)

基準地震動Ss1を 超過するケース	第1117回 審査会合	今回	備考	最大 ケース		
走向0° ケース	断層の傾斜角	破壊開始点1	基準地震動	【追加】基準地震動Ss1を上回る周期で最大の応答スペクトルとなり、代表ケースに選定…選定方法①	◎	
		破壊開始点2	基準地震動	基準地震動	◎	
		破壊開始点3	基準地震動	基準地震動	◎	
		破壊開始点4	基準地震動	【追加】基準地震動Ss1を上回る周期で最大の応答スペクトルとなり、代表ケースに選定…選定方法①	◎	
	応力降下量	破壊開始点1				
		破壊開始点3				
	走向20° ケース	断層の傾斜角	破壊開始点2			
			破壊開始点4	基準地震動	基準地震動	◎
応力降下量		破壊開始点1				
		破壊開始点2	基準地震動	基準地震動	◎	
走向40° ケース	断層の傾斜角	破壊開始点1	基準地震動	【追加】分類したケースの中で基準地震動Ss1を上回る周期で最大の応答スペクトルとなり、代表ケースに選定…選定方法①	◎	
		破壊開始点2	基準地震動	基準地震動Ss1を上回る周期で最大の応答スペクトルとならないものの、施設に影響を与える可能性が否定できないことから、代表ケースに選定		
		破壊開始点3	基準地震動	基準地震動	◎	
		破壊開始点4	基準地震動	分類したケースの中で基準地震動Ss1を上回る周期で最大の応答スペクトルとなり、代表ケースに選定	◎	
	応力降下量	破壊開始点1				
		破壊開始点2	基準地震動	基準地震動Ss1を上回る周期で最大の応答スペクトルとならないものの、施設に影響を与える可能性が否定できないことから、代表ケースに選定		
		破壊開始点3				
		破壊開始点4	基準地震動	【追加】基準地震動Ss1を上回る周期で最大の応答スペクトルとなり、代表ケースに選定…選定方法①	◎	

◎：基準地震動Ss1を上回る周期で最大の応答スペクトルとなるケース

○：基準地震動Ss1を上回る周期で最大の応答スペクトルとなるケース(走向40° ケースの最大)